

# 2017年2月期 決算説明会



2016年10月6日にオープンした  
スーパーアークス奥沢店  
(旧スーパーチェーンシガ奥沢店、ラルズ)



2016年11月11日に開店した、ユニバース十和田東店

株式会社アークス  
代表取締役社長 横山 清

# 2017年2月期 業績サマリー 2018年2月期 業績予想

- (1) 損益計算書①
- (2) 損益計算書②
- (3) 四半期毎の状況
- (4) 主要トピックス
- (5) 2018年2月期 業績予想

株式会社アークス  
取締役常務執行役員  
古川 公一

# (1) 損益計算書①



Always Rising Community Service

## 売上高、営業利益・経常利益とも過去最高

	金額	前期差	前期比	予算差	予算比
売上高	5,126.4 億円	107.3 億円	102.1 %	△23.5 億円	99.5 %
売上総利益	1,262.1 億円	38.5 億円	103.1 %	△4.8 億円	99.6 %
販管費	1,113.5 億円	34.2 億円	103.2 %	△5.4 億円	99.5 %
営業利益	148.5 億円	4.2 億円	102.9 %	0.5 億円	100.4 %
経常利益	164.7 億円	5.7 億円	103.6 %	0.7 億円	100.4 %
親会社に帰属する 当期純利益	104.9 億円	39.4 億円	160.3 %	14.9 億円	116.6 %

### ●売上高

✓増収要因 旧志賀商店寄与72億円、新店効果43億円

### ●売上総利益率

✓売上総利益率 24.6% (前期24.4%、前期差+0.2pt)

生鮮食品(+0.3pt)、一般食品(+0.2pt) とともに上昇

## (2) 損益計算書②

### ● 販管費

	実績	前期差	予算差
販売費	271.9億円	7.9億円	0.2億円
人件費	587.8億円	23.6億円	△0.1億円
管理費	253.7億円	2.7億円	△5.5億円
販管費計	1,113.5億円	34.2億円	△5.4億円

✓ 販管費率 21.7% (前期21.5%、前期差+0.2pt)

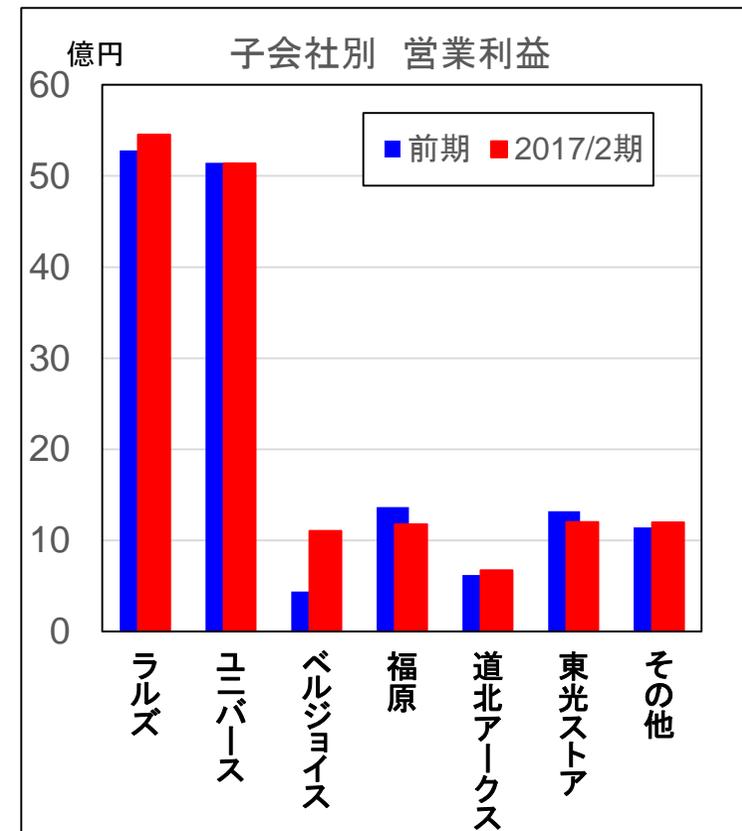
主要因 : 人件費率11.5%が0.2pt上昇

### ● 当期純利益

✓ 税金等調整前当期純利益 前期差3.6億円増加

✓ 法人税等 前期差11.9億円減少

✓ 法人税等調整額 前期差24.8億円減少



### (3) 四半期毎の状況

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
<b>売上高 前年差</b>	<b>31.3億円</b>	<b>31.1億円</b>	<b>34.3億円</b>	<b>10.5億円</b>	<b>107.3億円</b>
<売上高 前年比>	<102.5%>	<102.4%>	<102.9%>	<100.8%>	<102.1%>
<既存店売上高 前年比>	<99.9%>	<99.9%>	<100.5%>	<99.4%>	<99.9%>
<b>売上総利益 前年差</b>	<b>11.3億円</b>	<b>9.9億円</b>	<b>11.3億円</b>	<b>5.8億円</b>	<b>38.5億円</b>
<前年比>	<103.8%>	<103.2%>	<103.9%>	<101.8%>	<103.1%>
<売上総利益率 前年差>	<0.3pt>	<0.2pt>	<0.2pt>	<0.2pt>	<0.2pt>
<b>販管費 前年差</b>	<b>6.8億円</b>	<b>10.2億円</b>	<b>9.6億円</b>	<b>7.5億円</b>	<b>34.2億円</b>
<前年比>	<102.5%>	<103.8%>	<103.6%>	<102.7%>	<103.2%>
<販管费率 前年差>	<0.0pt>	<0.3pt>	<0.2pt>	<0.4pt>	<0.2pt>
<b>営業利益 前年差</b>	<b>4.5億円</b>	<b>△0.3億円</b>	<b>1.6億円</b>	<b>△1.6億円</b>	<b>4.2億円</b>
<前年比>	<115.6%>	<99.1%>	<106.2%>	<96.5%>	<102.9%>
<b>経常利益 前年差</b>	<b>3.9億円</b>	<b>△0.1億円</b>	<b>3.6億円</b>	<b>△1.7億円</b>	<b>5.7億円</b>
<前年比>	<112.1%>	<99.7%>	<111.9%>	<96.7%>	<103.6%>
<b>当期純利益 前年差</b>	<b>9.2億円</b>	<b>6.0億円</b>	<b>6.0億円</b>	<b>18.2億円</b>	<b>39.4億円</b>
<前年比>	<152.3%>	<123.4%>	<134.4%>	<494.2%>	<160.3%>

## (4) 主要トピックス

### ●新システム・トランスフォーメーション計画

✓2018年3月稼働予定

✓総投資予定額(稼働後5年間) : 合計95.6億円(初期費用49.6億円、運用費用46.0億円)

✓2016年度経費実績 : 1.4億円

✓2017年度経費見込 : 2.2億円

✓2018年度以降

稼働後システムコスト 19.1億円、既存システムコスト3.7億円、  
➤差引コスト負担 15.4億円/年

### ●増配

✓1株当たり期末配当金を4円増額の25円に修正 当期年間配当額は 1株当たり46円

### ●株価

✓前期末 2,275円→当期末 2,534円→直近(2017.4.7) 2,664円

### ●時価総額

✓前期末 1,288億円→当期末 1,435億円→直近(2017.4.7) 1,509億円

# (5) 2018年2月期 業績予想



Always Rising Community Service

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2018/2期 (予想)	上期	2,610 億円	73.5 億円	80.5 億円	52 億円
	下期	2,590 億円	77.5 億円	87.5 億円	48 億円
	<b>通期</b>	<b>5,200 億円</b>	<b>151 億円</b>	<b>168 億円</b>	<b>100 億円</b>
	(通期)当期差	73.5 億円	2.4 億円	3.2 億円	△4.9 億円
	(通期)当期比	101.4 %	101.7 %	102.0 %	95.3 %

## <業績予想の前提>

### ●売上高

✓既存店売上高 当期比:101.8% 上期101.8%、下期101.8%

### ●売上総利益

✓売上総利益率:24.8%(当期差 +0.2pt)

上期24.5%(当期差+0.2pt)、下期25.1%(当期差+0.1pt)

### ●販管費

✓販管費率:21.9%(当期差 +0.2pt)

### ●当期純利益

✓特別損失:16.4億円(当期差△6.1億円)

✓法人税等合計:52.1億円(当期差+14.6億円)

## ●投資計画

	計画	当期差
新店	15 億円	△10億円
改装	17 億円	△0億円
システム	48 億円	+21億円
その他	25 億円	△7億円
合計	105 億円	+4億円

# アークスグループの取り組み

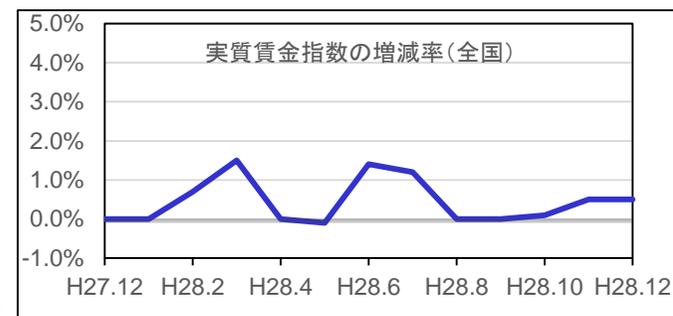
- (1) 事業環境
- (2) 2017年2月期の取組成果
- (3) 今後の取り組み①
- (4) 今後の取り組み②

株式会社アークス  
代表取締役社長 横山 清

# (1) 事業環境

## ●不安定な経済情勢

- ✓(国内)マイナス金利の継続、消費税増税延期
- ✓(国内)人手不足の深刻化、人口減少
- ✓(海外)イギリスのEU離脱、アメリカの政権交代



毎月勤労統計調査(厚生労働省)より

## ●消費マインドの回復が停滞

- ✓実質賃金の伸び悩み
- ✓家計収支の消費支出(実質増減率)は3年連続減少

## ●業界の主な動き

- ✓ユニー・ファミマHD発足(2016年9月～)
- ✓三菱商事がローソンを子会社化(2017年2月)

## (2)2017年2月期の取組成果

### ● グループ内組織体制の強化

- ✓ベルジョイス、道東アークスの統合効果深耕
- ✓2016年2月に承継したスーパーチェーンシガの店舗運営をラルズと統一

### ● センター機能の拡充

- ✓ラルズ 東光生鮮流通センターの製造能力増強 2017年1月～ 東光ストアへ商品供給開始
- ✓ダマック(道北アークスの総合物流センター)から道東アークスへ商品供給開始 2017年2月～

### ● 地域との連携強化

- ✓市との協定締結 2017.2期:道南ラルズ・函館市、エルディ・北広島市  
その他、ラルズ・苫小牧市、ユニバース・青森県、ベルジョイス・盛岡市、福原・芽室町、  
道北アークス・砂川市、道東アークス・北見市等、53以上の自治体等と協定を締結済
- ✓アークスRARAカードのサービス拡大  
室蘭ガスのガス料金へポイント付与決定、2017年5月使用分よりサービス開始  
旧ベルプラス店舗でのポイントサービス開始



ラルズ 東光生鮮流通センター

## (3) 今後の取り組み①

### <システム統合基盤構築プロジェクト>

#### ●2018年3月本格稼働(予定)

✓SAP社のシステムを導入

→業界標準となり得るプラットフォーム構築を目指す

#### ●5年間で100億円の投資

✓システム構築費50億円

✓システム運用費50億円弱(5年間)

#### ●1兆円企業に向けた業務改革・組織改革

を通じた基盤構築(トランスフォーメーション計画)

#### ●グループシナジーの追求

✓規模のメリットを生かした調達を検討

✓後方業務の効率化・低コスト化の検討

全員参加経営  
システム統合を  
軸に地域創成  
の中心核となり  
WIN<sup>6</sup>を推進する。  
平成29年元旦  
社長 横山 清

## (4) 今後の取り組み②

### <1兆円体制に向けた体制強化>

#### ●八ヶ岳連峰経営の深化

- ✓外国人技能実習生を含め、全員参加経営
- ✓各地の供給体制の強化、再構築

#### ●地域創成に向けた取組み提案

- ✓地域の様々な機関との連携と新たな商品・販促提案  
「道民家庭の日」取組み開始

#### ●連携・提携への模索・進行

- ✓業務提携、資本提携等の積極的な取組み継続  
→システム統合基盤構築プロジェクトも活用

